



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年7月29日

上場会社名 株式会社 加地テック

上場取引所 東

コード番号 6391 URL <https://www.kajitech.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 博士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 阿曾 佳明

TEL 072- 361- 0881

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,149	24.6	46		45		27	190.6
2022年3月期第1四半期	922	19.4	30	1,127.2	32	222.0	9	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	16.64	
2022年3月期第1四半期	5.73	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,185	6,538	64.2
2022年3月期	9,683	6,574	67.9

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 6,538百万円 2022年3月期 6,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				40.00	40.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	42.0	460	5.7	510	12.0	390	26.0	235.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,718,000 株	2022年3月期	1,718,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	63,163 株	2022年3月期	63,163 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	1,654,837 株	2022年3月期1Q	1,654,884 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、非製造業において、新型コロナウイルスの感染縮小に伴う人出の回復が追い風となり、景況感は改善している一方、製造業においては、供給制約の深刻化や原材料価格の高騰などが逆風となり、景況感は悪化しております。新型コロナウイルスにおいても、足元では感染再拡大の兆候がみられており、先行き不透明な状況が続いております。

日銀短観(2022年6月調査)によれば、2022年度の設備投資計画(全規模・全産業)は、前年度比14.1%増と大幅に上方修正されました。例年、6月調査は上方修正される傾向にあるものの、今年は、既往の収益回復や経済活動の再開、供給制約緩和への期待が強かったものとみられ、伸び率の水準として非常に高い結果となりました。一方で、経常利益計画(全規模・全産業)については、前年度比3.6%減の計画となり、これは、新型コロナウイルス感染再拡大、ウクライナ情勢長期化、世界的なインフレなど、今後の下振れリスクを考慮し、慎重になった結果とみられます。

このような状況下、当第1四半期累計期間における当社業績は、前事業年度において遅延していた案件の売上があったこと等により、売上高は前年同期比24.6%増の1,149百万円となりました。売上高は増加したものの、採算が悪化した案件が増加したこと等により、売上総利益は前年同期比22.4%減の220百万円となりました。また、売上総利益の減少に加え、販売費及び一般管理費が前年同期比5.1%増の266百万円となったことにより、営業損失は46百万円(前年同期は営業利益30百万円)、経常損失は45百万円(前年同期は経常利益32百万円)となりました。一方、建設中の本社総合組立工場の竣工を間近に控え、申請していた補助金の交付決定額102百万円を特別利益として計上し、旧工場解体費用19百万円を特別損失として計上したことから、四半期純利益は前年同期比190.6%増の27百万円となりました。なお、当該特別損益の計上は、業績予想に織り込まれており、現時点において業績は概ね予定通り推移しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間の総資産は、10,185百万円で前事業年度に比べ501百万円増加しました。この主な要因は、本社総合組立工場関連の建設仮勘定が増加したことにより有形固定資産その他が530百万円増加したことによりです。

当第1四半期会計期間の負債は、3,646百万円で前事業年度に比べ537百万円増加しました。この主な要因は、本社総合組立工場関連の未払金が増加したことにより流動負債その他が584百万円増加したことによりです。

当第1四半期会計期間の純資産は、6,538百万円で前事業年度に比べ36百万円減少しました。この主な要因は、剰余金の配当66百万円及び四半期純利益の計上27百万円により、利益剰余金が38百万円減少したことによりです。

以上の結果、自己資本比率は64.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における新型コロナウイルス感染症拡大による事業への影響は限定的であり、業績に重大な影響はありません。よって、2023年3月期の業績見通しにつきましては、2022年4月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。業績予想を見直す必要が生じた場合は適時に開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	771,230	1,114,527
受取手形	336,478	233,518
電子記録債権	382,743	345,589
売掛金及び契約資産	1,005,168	951,075
製品	8,890	8,150
仕掛品	1,970,647	2,010,766
原材料及び貯蔵品	316,596	309,101
預け金	1,100,000	1,100,000
その他	288,632	100,110
貸倒引当金	△13,900	△12,300
流動資産合計	6,166,486	6,160,540
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,954,124	1,932,235
その他(純額)	1,106,990	1,637,645
有形固定資産合計	3,061,114	3,569,881
無形固定資産	104,348	104,403
投資その他の資産	351,829	350,192
固定資産合計	3,517,293	4,024,477
資産合計	9,683,780	10,185,018
負債の部		
流動負債		
支払手形	157,577	160,611
電子記録債務	556,629	683,578
買掛金	253,784	136,249
短期借入金	1,010,000	1,010,000
未払法人税等	27,369	18,480
契約負債	79,229	59,162
賞与引当金	165,769	77,366
受注損失引当金	56,500	116,900
その他	230,717	814,927
流動負債合計	2,537,577	3,077,275
固定負債		
退職給付引当金	553,137	551,478
その他	18,790	18,135
固定負債合計	571,928	569,614
負債合計	3,109,506	3,646,890

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,440,000	1,440,000
資本剰余金	1,203,008	1,203,008
利益剰余金	4,040,601	4,001,948
自己株式	△110,374	△110,374
株主資本合計	6,573,235	6,534,582
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	1,038	3,545
評価・換算差額等合計	1,038	3,545
純資産合計	6,574,274	6,538,127
負債純資産合計	9,683,780	10,185,018

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	922,403	1,149,207
売上原価	638,732	929,076
売上総利益	283,670	220,131
販売費及び一般管理費	253,200	266,202
営業利益又は営業損失(△)	30,470	△46,071
営業外収益		
受取利息	703	802
損害賠償収入	1,237	-
助成金収入	1,095	-
鉄屑売却収入	1,104	436
還付加算金	-	675
その他	715	419
営業外収益合計	4,855	2,333
営業外費用		
支払利息	13	670
固定資産除却損	2,730	847
その他	239	0
営業外費用合計	2,982	1,517
経常利益又は経常損失(△)	32,343	△45,255
特別利益		
補助金収入	-	102,400
特別利益合計	-	102,400
特別損失		
工場再編費用	20,066	19,313
特別損失合計	20,066	19,313
税引前四半期純利益	12,276	37,830
法人税等	2,800	10,290
四半期純利益	9,476	27,540

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(補助金収入)

当第1四半期累計期間において、当社は本社総合組立工場の新設に伴い、申請していた補助金の交付決定を受けたことにより、交付決定額102,400千円を補助金収入として特別利益に計上しております。

(工場再編費用)

当第1四半期累計期間において、当社は本社総合組立工場の新設に伴い、一部工場の建替えに係る工場解体費用19,313千円を工場再編費用として特別損失に計上しております。